

10月16日(土)

9:30~11:30 セッションA：企画セッション（ジェンダー統計研究部会企画）
第5次男女共同参画基本計画とジェンダー統計 Zoom会場第1

コーディネータ：杉橋 やよい（専修大学） 座長：伊藤 純（昭和女子大学）

1. 杉橋 やよい（専修大学）
世界ジェンダーギャップ指数の再検討
2. 橋本 美由紀（高崎経済大学）
高校までの統計教育とジェンダー教育について
3. 高橋 雅夫（長野大学）
夫婦の家事分担の規定要因の動向
4. 伊藤 陽一（東北・関東支部）
性的指向・性的自認（SOGI）の政府統計調査での取り上げ

9:30~11:30 セッションB：一般報告 Zoom会場第2

座長：鈴木 雄大（北海学園大学）

1. 高部 勲（立正大学）
公的統計マイクロデータの利活用推進に資する疑似データ活用の可能性
2. 櫻井 智章（総務省）
民間データを活用した総消費動向指数の結果の改善について
3. 横溝 秀始*（総務省）・伊藤伸介（中央大学）
事業所・企業系のマイクロデータにおける匿名化措置の有効性の評価
4. 高橋 将宜（長崎大学）
外れ値を含む経済データにおける欠測値の代入処理

（注）*印は報告者（以下同様）

12:30~13:00 2021年度学会賞選考結果報告（学会本部企画） Zoom会場第1

13:00~14:30 セッションC：特別講演（学会本部企画） Zoom会場第1

コーディネータ：全国プログラム委員会 座長：水野谷 武志（北海学園大学）

小山 雅之（札幌医科大学）他

札幌市の新型コロナウイルス感染症対策とGISの活用

15:00~16:30 セッションD：企画セッション Zoom会場第1

地域の諸課題と調査・統計分析（1）

コーディネータ・座長：菊地 進（東北・関東支部）

1. 丸山 洋平（札幌市立大学）
地域指標の客観的解釈に関する一考察—地域別ランキングの批判的検討を通して
2. 坂本 憲昭（法政大学）
自動車所有台数からみたSS過疎地に関する考察

3. 芦谷 恒憲 (兵庫県立大学)

兵庫県における地域データを用いた政策課題分析の事例と課題

15:00~16:30 セッション E : 企画セッション

Zoom 会場第 2

2025 年成立の国民経済計算・国際収支統計周辺の課題

コーディネータ : 櫻本 健 (立教大学)

座長 : 小川 雅弘 (大阪経済大学)

1. 萩野 覚 (内閣府)

国際サービス供給のモード別分類について—海外子会社の活動や付加価値貿易指標を含む包括的なサービスの把握

2. 櫻本 健 (立教大学)

2025 年成立の SNA におけるデジタルライゼーションの計測

3. 李 潔 (埼玉大学)

SNA と MPS における固定資本の取扱に関する一考察

10 月 17 日 (日)

9:30~11:30 セッション F : 企画セッション

Zoom 会場第 1

日本の統計史を考える

コーディネータ : 小林良行 (総務省)

座長 : 山口 幸三 (総務省)

1. 上藤 一郎 (静岡大学)

A. Quetelet の人体測定学と数理統計学

2. 廣嶋 清志 (東北・関東支部)

万国統計公会の人口調査像

3. 佐藤 正広 (東京外国語大学)

紀元 2000 年と国勢調査—昭和 14 年臨時国勢調査について

4. 伊良皆 千夏 (一橋大学)

米国統治下の沖縄における統計調査

9:30~11:30 セッション G : 一般報告

Zoom 会場第 2

座長 : 山口 秋義 (九州国際大学)

1. LI Yapeng (立命館大学)

浙江省と山東省における都市・農村間所得格差の分析—空間パネルデータモデルの適用から

2. 泉 弘志* (関西支部) ・戴 艶娟 (広東外語外貿大学) ・李 潔 (埼玉大学)

国際産業連関表による剰余価値率の国際比較—国際価値の理論を踏まえて

3. 栗原 由紀子* (立命館大学) ・坂田 幸繁 (中央大学)

首都圏近郊における職住分布の計測—パーソントリップ調査を利用して

4. 木下 英雄 (大阪経済大学)

産業別にみる場合の雇用創出要因

12:30~14:30 セッションH：一般報告

Zoom 会場第 1

座長：中敷領 孝能（熊本学園大学）

1. 張 南（広島修道大学）
国際資金循環と金融ネットワーク分析
2. 浦沢 聡士（神奈川大学）
GDP ナウキャスト：成果と課題
3. 濱本 賢二*（松山大学）・井草 剛（松山大学）
愛媛県における観光消費の経済効果と課題
4. 長澤 克重*（立命館大学）・池田 伸（立命館大学）
電子商取引（ec）統計とアマゾンのパラドクス

12:30~14:30 セッションI：企画セッション（労働統計研究部会企画）

労働・生活・福祉問題と統計

Zoom 会場第 2

コーディネータ・座長：村上 雅俊（阪南大学）

1. 伊藤 陽一（東北・関東支部）
COVID-19 の影響下の SDG 目標 8.1 指標の再検討
2. 村上 雅俊（阪南大学）
働き方の組み合わせで見るワーキングプア一世帯類型に着目して
3. 福島 利夫（東北・関東支部）
日本型生活様式の変化と最低賃金制
4. 劉 洋（経済産業研究所）
企業年齢、企業規模と雇用—日本のデータに基づく分析

15:00~16:30 セッションJ：企画セッション

Zoom 会場第 1

地域の諸課題と調査・統計分析（2）

コーディネータ・座長：菊地 進（東北・関東支部）

1. 西内 亜紀*（統計情報研究開発センター）・新井 郁子（統計情報研究開発センター）・草薙 信照（大阪経済大学）
関西国際空港と中部国際空港の立地がもたらした人口構造の変化—地域メッシュ統計による年齢3区分人口の分析
2. 小西 純（統計情報研究開発センター）
知識産業集積地域における産業中分類別従業者数による主成分分析
3. 大井 達雄（立正大学）
タイル指数による観光地の人流データの変動要因分析

お知らせとお願い

【大会に参加される方々へ】

1. 本大会 Web 会議ソフトウェア ZOOM を用いて実施します。報告者・聴講者・座長・コーディネータの方におかれましては、あらかじめミーティング用 ZOOM クライアントのインストール（無料）をお願いいたします。（過去にインストールされ、その後に利用していないという方は、ソフトウェアのアップデートをお願いいたします。）すでに有料の ZOOM アカウントを所持している方については改めてインストールの必要はありませんが、ZOOM のアップデートは済ませておいてください。
2. レコーディング（セッション・報告の録画）はお控えいただきますようお願いいたします。

【報告者・座長・コーディネータの方々へ】

1. 報告者の方は、電子メールでお知らせする要領で「報告要旨集」の原稿の送付をお願いいたします。提出期限は9月20日です。また報告要旨は、学会ホームページで公開します（10月初旬の予定）。
2. **各報告者の報告時間は質疑を含め原則1報告30分とします。**企画セッションでは、報告時間の配分・運用が異なる場合があります。詳しくは各セッションのコーディネータ、または座長にご確認・調整ください。
3. 報告者は、パワーポイント他で発表する場合は、ZOOM の「画面の共有」機能を使ってください。「画面の共有」は報告者ご自身が操作してください。また、使用するパワーポイント他のファイルを ZOOM のチャット機能でご提供していただく必要はありません。
4. ZOOM へのアクセス情報は大会開催の1週間前を目途にメールでお送りいたします。

【聴講者の方々へ】

1. **2021年9月10日～10月10日の期間を設けて、大会への参加希望者を Google フォームにて募集**します。非会員については原則参加不可としますが、第65回全国研究大会プログラムに報告者として氏名の記載のある非会員については参加可とします。団体会員については登録会員以外に5名を上限として参加を可とします。
2. 不測の事態により、大会が予定通り開催できない場合には、学会ホームページ、メーリングリストにて本会の対応をお知らせします。
3. 聴講を希望された方には、ZOOM へのアクセス情報を大会開催の1週間前を目途にメールでお送りいたします。その他、大会に関わる追加的なお知らせ事項等については学会ホームページ、メーリングリストにて行います。

【大会終了後の予定】

1. 報告者の方は、電子メールでお知らせする要領で「報告集」の原稿の送付をお願いします。提出期限は11月10日です。また「報告集」は、学会ホームページで公開します（12月の予定）。

経済統計学会 2021年度全国研究大会プログラム委員

委員長	水野谷武志（北海道支部）
-----	--------------

副委員長	鈴木雄大（北海道支部）
------	-------------

委員	杉橋やよい（東北・関東支部）	村上雅俊（関西支部）
----	----------------	------------

	中敷領孝能（九州支部）	山口秋義（九州支部）
--	-------------	------------